

中学校
1年/学活

情報モラル「掲示板への書き込み」

実践者 栗原市立若柳中学校 教諭 内出 浩信

1 学習の概要

単元名

情報モラル「掲示板への書き込み」

単元の目標

悪意がなくともネットワーク上で情報を公開することで、他人を不快にしたり迷惑をかけたりする可能性があることを理解させネットワーク上で情報を発信するときの責任ある態度を育成する。

本時の学習

学習活動

- 1 プロフ、ブログ、ホームページの作成や電子掲示板への記入の経験について発表する。
- 2 B子が地元の掲示板で知らせようとしたことやその書き込んだ内容について話し合う。
- 3 お礼のメールや抗議のメールを読んだB子の気持ちを考える。
- 4 掲示板の書き込みについて気をつけなければならないことや便利なことを考える。
- 5 誹謗・中傷を防ぐための心構えについての話を聞く。

指導上の留意点

- 発表やアンケート結果により実態を確認する。
- 内容を把握させた上で行為の是非や情報の確かさについて考えさせる。
- たとえ事実であっても人が困ることを書くことは誹謗にあたり、根拠のない悪口を言うことは中傷にあたること、また、掲示板に記入するときは相手の立場を考える思いやりが必要であることを理解させる。

本時活用機器・コンテンツ

- ・デジタル教材「情報モラル研修教材2005」「地域掲示板」(<http://sweb.nctd.go.jp/2005/index.htm>)
- ・ビデオプロジェクター

補助資料等

- ・学習プリント

2 学習のポイント

・生徒の実態に合わせた授業づくり
情報モラルの授業では生徒の実態に沿わなければならない上、携帯を持っていない生徒、携帯について詳しくない生徒・詳しい生徒に同時にどう指導していくか、というのが課題である。今回は、掲示板を実際に見せて、それを教師がゆっくり操作したり、説明したりすることで、経験の少ない生徒にも理解できるようにした。

・携帯やネットのよさと注意点の両面について学ぶこと

携帯電話やインターネットを利用するときの注意点や及ぼす影響についての学習が中心となりがちであるが、そのよさや便利な点を学ぶことも忘れてはならない。
どのような使い方が道具としてのそれぞれの機器等本来の特徴を生かすことができるのかを指導者が把握し、生徒に伝えることが大切である。



3 学習のまとめ

・子供たちのすがた

感想から「気を付けて利用しなければいけないということが分かった」「判断力の大切さ」や「相手の立場になって考える」という内容があった。自分たちで考えることで感じることでできた面である。

また、「情報の正しさ」という点での状況判断、情報を見極めることについても指導していかなければならない。

